

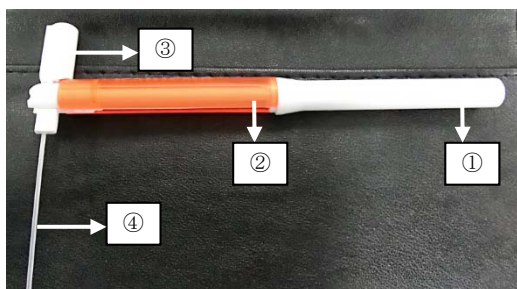
機械器具 24 知覚検査又は運動機能検査用器具
一般医療機器 手動式皮膚痛覚計 JMDN コード:12950001
セメスワインスタインモノフィラメント

【警告】

- * フィラメントで目等を突かないように注意してください。
[けがをする恐れがあります]

【形状、構造及び原理等】

1. 構造



- ① 本体部
② 保護キャップ
③ ヘッド部
④ フィラメント (ナイロン)

2. 寸法

本体寸法: 160×7 mm (フィラメント収納時)

- * ケース寸法: 20 本/10 本セット 200×190×30 mm
5 本/ 6 本セット 200×130×30 mm

【使用目的又は効果】

ナイロンフィラメントの押圧に対する知覚の認知状態を観察して、各種末梢神経損傷および、麻痺による知覚障害の有無、程度、範囲を評価・診断する。

【使用方法等】

1. 検査準備

- ① 色のついた保護キャップと本体を握ります。
② フィラメントが見える位置まで回転させます。
③ ヘッド部を持ち、90 度回転させます。

2. 操作手順 (Bell の方法)

- ① 検査は被験者が集中できる静かな場所で行います。
② 検査する部位をタオルの上などリラックスして安定する場所に置きます
③ 被験者に検査の手順を説明します。
感覚のある部分にフィラメントを当て、刺激を理解してもらい
感じたら「はい」と返事をするか「首を縦にふる」などの合図を
してもらうように指示します。
④ 傷がある部位はあらかじめ記録用紙に記録しておきます。

- ⑤ 被験者に目を閉じてもらうか、衝立などで視界をさえぎり、テストを開始します。
⑥ フィラメントを皮膚の検査部位に 1~1.5 秒かけて垂直に降ろし、1~1.5 秒かけてフィラメントがたわむまで行い、1.5 秒かけて元の位置に戻します。
⑦ 抹消から中枢へ、細いフィラメントから太いフィラメントへと検査を行います。5 本セットの場合、はじめに 2.83 フィラメントで検査し、知覚できた部位を緑色で記録し、次に 3.61 フィラメントで検査し、知覚できた部位を青色で記録します。同様に太いフィラメントに変えていき、6.55 で知覚できない部位は赤色で塗りつぶし、黒で斜線を引きます。同じ色で違うフィラメントを使う場合はフィラメントサイズも記録します。
⑧ 1.65~4.08 間のフィラメントの場合は被験者が刺激を感じられない場合は 3 回行います。4.17~6.65 間のフィラメントの場合は 1 回で検査を行います。

- * ・精密知覚機能検査や精密触覚機能検査に用いる場合は、所定のマニュアルに従って検査・評価を行ってください。

【使用上の注意】

- 1) フィラメントには無理な力を加えないでください。[破損する恐れがあります]
* 2) 折れ曲がったり、ねじれたりしているフィラメントで検査を行わないでください。変形等が生じた器具は、交換してください。[正しい検査ができません。またけがをする恐れがあります]
* 3) 極度に湿度が高い環境で使用しないでください。[フィラメントの変形の原因になります]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

検査終了後は必ず専用ケースに収納して保管してください。

【保守・点検に係る事項】

- * 使用後は適切な処置を行いエタノールや同等の消毒剤で洗浄してください。その際、シンナー、ベンジンなどの揮発性・可燃性のもので拭かないでください。
清掃後は、十分乾かしてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 酒井医療株式会社

問い合わせ先: 03-5227-5770

外国製造業者: DANMIC GLOBAL, LLC

ダンミック グローバル (アメリカ合衆国)

取扱説明書を必ずご参照ください。